

# 埼玉県地球温暖化防止活動推進センター センターだより



No.6

発行責任者 ● NPO法人環境ネットワーク埼玉



## 目次

地球温暖化防止をめぐる国際交渉について

&lt;環境ネットワーク埼玉からのお知らせ&gt;

1. 「太陽光発電」国の補助金申請の受付を開始しました
2. 事務所を移転します

&lt;埼玉県地球温暖化防止活動推進センターからのお知らせ&gt;

1. ストップ温暖化「一村一品」大作戦
2. 推進員現地指導型研修を開催しました
3. 推進員活動交流会を開催しました
4. 地球温暖化防止地域セミナーを開催しました

&lt;地域・会員活動報告&gt;

1. 小学校の環境学習指導を行いました
  2. 団体正会員（企業）会員紹介 毎日興業株式会社
- コラム:あなたが主役!「家庭のCO2削減ハンドブック」  
で“STOP温暖化大作戦”

## 地球温暖化防止をめぐる国際交渉について

環境ネットワーク埼玉理事（跡見学園女子大学教授） 宮崎 正浩

昨年北海道洞爺湖で開催されたG8（主要国首脳会議）において、これからの温暖化対策について国際間の具体的な方向性が議論されたことは記憶に新しいことである。今年（2009年）12月にはコペンハーゲンで気候変動枠組条約の第15回締約国会議（COP15）が開催され、京都議定書の期限が切れる2013年以降の世界的な温室効果ガスの規制が決まる予定である。

これまでの交渉では、EUは、2020年目標（1990年基準）を先進国は20%減（他の先進国が合意すれば30%減）、途上国は自然状態から15～30%減とすることを提案している。また、2050年の目標は世界で50%減としている。

オバマ政権となった米国は、2020年の目標は1990年と同じレベル、2050年の目標は80%減を掲げている。

一方、日本は、2050年目標は現状を基準として世界で50%減、日本としては60～80%減としたが、2020年の中期目標は政府の「中期目標検討委員会」で検討中である。

地球温暖化が加速的に進行している中で、日本として国際貢献を世界に示すために高い削減目標を掲げることは重要である。しかし、京都議定書のように、目標設定において、最初から大量の排出権を外国から買うことを前提するのは避けるべきであろう。国際交渉はきわめて難航するであろうが、各国にとって公平な負担となるものが合意されることを期待したい。



## 〈環境ネットワーク埼玉からのお知らせ〉

### 1. 「太陽光発電」国の補助金申請の受付を開始しました

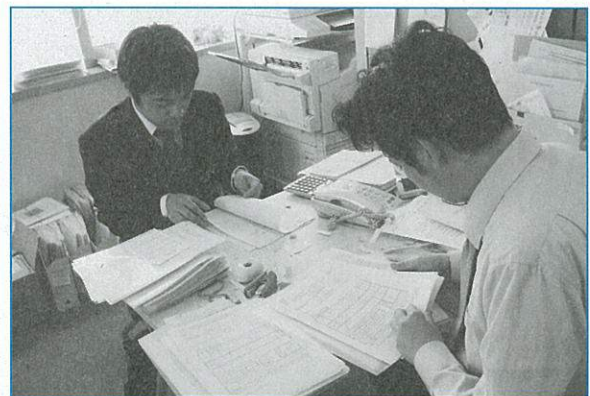
～21年度から埼玉県の補助金申請窓口となる予定～

国の総合経済政策に盛り込まれた住宅用太陽光発電システムに対する補助金交付に際して、埼玉県では、当団体が受付窓口となりました。

今回の補助金は、平成20年度補正予算に基づくもので、期間は、1月13日（火）～3月31日（火）までとなっています。総額90億円、3.5万件の枠の中でシステム価格70万円（税抜き）／kW以下に対して最大出力1kWあたり7万円、最大10kW未満まで補助金が受けられます。一般家庭では、3～3.5kW位が標準的と言われていますので約20～25万円の補助を受けることができます。平成21年度もほぼ同様の仕組みで国の補助が出るようです。また、埼玉県でも21年度から補助金の交付申請が始まる予定で、申請窓口を当団体が受託する方向で調整が進められています。

\*太陽光発電補助金申請状況（3月22日現在）

申請数	全国	15,287件
	県内	884件
交付決定数	県内	865件
実績報告数	県内	147件



太陽光発電補助金申請受付状況

### 2. 事務所を移転します

このたび、4月1日（水）から特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉〈埼玉県地球温暖化防止活動推進センター〉の事務所を移転します。当センターは、平成17年4月に大宮ソニックシティビル30階に開所して以来、約4年弱、埼玉県の地球温暖化防止活動の拠点として活動してきましたが、諸事情により移動することになりました。詳細につきましては下記のとおりです。

(1) 業務開始日 平成21年4月6日（月）〈太陽光発電については4月1日（水）から受け付けます。〉

(2) 移転先

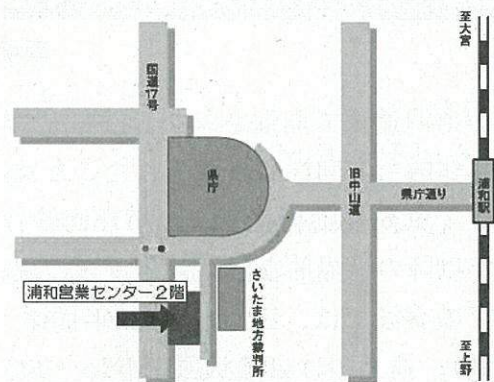
〒336-0021 埼玉県さいたま市南区別所1-1-16  
東京電力さいたま支社浦和営業センター2階

(3) 閉館日 土・日曜日、祝日

(4) 開館時間 9：00～17：00

(5) 連絡先 TEL：048-749-1217  
FAX：048-749-1218  
URL：http://www.kannet-sai.org

(6) 案内図



### 3. 事業者相談会の変更のお知らせ

これまで、事業者相談会を原則月2回実施してきましたが、平成21年度からは予めご連絡をいただき、内容、相談希望日等をお伺いして調整をさせていただきます。早めにご連絡をお願いします。



## 埼玉県地球温暖化防止活動推進センターからのお知らせ

### 1. ストップ温暖化「一村一品」大作戦

(1) ストップ温暖化“冷やせ！彩の国”コンクールを開催しました

10月25日（土）ソニックシティ国際会議室において、取組テーマ17件の発表会を開催しました。

厳正な審査の結果にもとづき、12月13日（土）に大宮法科学院大学講堂において結果発表会および県代表団体のプレゼンテーションを行いました。

(2) 全国大会へ出場しました

2月14日（土）、15日（日）品川駅前ザ・グランドホールにて各都道府県を勝ち抜いた47代表が、それぞれの地域特性を活かした、温暖化防止・CO2削減の取組をプレゼンテーション形式で発表しました。各代表は、4分の持ち時間の中で各地域での取組内容を寸劇で表現したり、ビデオ形式で紹介したりとおもしろおかしく会場を盛り上げました。埼玉県代表は、＜小川町！和紙で紡ぐ有機とエネルギーの里＞と題して生活工房「つばさ・遊」のメンバーが高橋優子代表を中心に発表しました。結果は、優秀賞となりました。

生活工房「つばさ・遊」は、地域において、「食」「農」「和紙」をテーマとして各主体をつなぎ、30世紀につながる環境負荷の少ない持続可能なまちづくりを

目指して協働で取り組んでいます。

#### ＜全国大会の結果＞

- |      |  |
|------|--|
| 最優秀賞 | 京都市立雲ヶ畑中学校（京都府）<br>地域の自然エネルギーを活用しよう                        |
| 金賞   | 雪国住宅研究会（新潟県）<br>雪室をビルトイン、冬の雪で夏に冷房する家                       |
| 銀賞   | 農事組合法人 高知バイオマスファーム<br>高知・農家発～木質ペレットを燃料とする<br>低炭素農業の実践（高知県） |
| 銅賞   | 沖縄県立宮古総合実業高等学校（沖縄県）<br>サンゴの島の「日本そば」プロジェクト                  |



和紙に関して映像で説明する生活工房「つばさ・遊」のメンバー

### 2. 推進員現地指導型研修を開催しました

11月19日（水）推進員現地指導型研修会を開催しました。推進員研修会は座学が多い中で、この研修は非常に人気の高いメニューです。参加者は39名でした。

午前中は、東京都あきる野市にあるバイオマス発電を見学しました。武蔵五日市駅から奥多摩に向かう秋川渓谷沿いの国立公園第二種地域内に立地し、コテージを併設した温浴施設で、2007年2月にオープンしました。

施設は、あきる野市のバイオマスタウン構想に基づき  
①バイオマスボイラーとスターリングエンジン（外燃機関）を設置し、温泉水の加温と発電を行うために、間伐で発生した多量の端材や樹皮をバイオマス燃料として利用。  
②国立公園地域に立地するため、その自然景観を生かす。  
③地場産の木材を建築材料として利用するなどの条件を満たし、地域の活性化を促すためのプロジェクト

です。「エコミュージアム」は温浴施設とバイオマスタウン構想を学習できるユニークな施設です。午後は、山梨県都留市役所敷地の隅に設置されている「都留市家中川小水力市民発電所」を見学しました。この取組は、昨年度のストップ温暖化「一村一品」大作戦全国大会で金



スターリングエンジンに興味を示す参加者



賞を受賞しました。このシステムは山々の融雪や雨水を集めて流れる桂川の支流の一つである家中川の、幅3mの豊かで力強い流れを利用しています。この発電所は、自治体が事業主となり、地球環境に対する都留市民の感謝の心をこめたミニ公募市債「つるのおんがえし債」の導入により、平成17年10月に完成したものです。市の試算では、都留市庁舎の電力使用量の18%が賄われ、年間の電気代は170万円、二酸化炭素を約80トン減らすことができます。

都留市役所に隣接して谷村第一小学校があり、環境教育にも活かされており、子どもたちが自然エネルギーについて学習することができます。



家中川小水力市民発電所「元気くん1号」

### 3. 推進員活動交流会を開催しました

2月21日（土）大宮ソニック市民ホールにおいて、今年度の推進員活動の結果報告とふりかえりを目的とした推進員交流発表会を開催しました。推進員から今年度のOJT研修の成果報告や、日ごろから地域活動の中で水平展開を期待できるような内容についての発表がありました。53人と多くの方に参加していただき、①苦労した点②これからの方向性など、活発な意見交換があり、今後の活動に期待の持てる発表会となりました。新しく推進員になった方から「どのように活動をしてよいか迷っていた時期に一緒になって活動をさせていただき、公私にわたり収穫の多い年でした」との感想や、「今後もこのような活動を通してスキルアップできる機会を設けてほしい」等の意見がありました。事例発表のテーマと発表者は下記のとおりです。

①研修での推進員のつながりを地域活動に生かす

発表者：エコ・エコシミン・ネット 二宮 由紀

②エコドライブ講習会の実施

発表者：NPO法人さやま環境市民ネットワーク  
温暖化対策分科会 本橋 亮一

③県央温暖化対策協議会

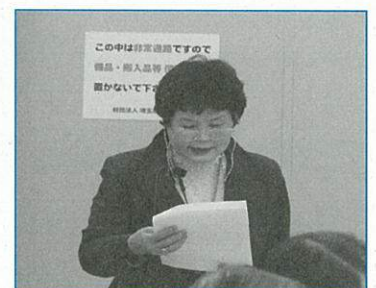
発表者：県央温暖化対策協議会 平間 敏明

④川口市の「レジ袋の無料配布中止」キャンペーン

発表者：個人 小松原 堯子

⑤ストップ温暖化“冷やせ！彩の国”コンクール代表になって

発表者：生活工房  
「つばさ遊」  
高橋 優子



レジ袋について熱く語る小松原 堯子氏

### 4. 地球温暖化防止地域セミナーを開催しました

埼玉県主催の地球温暖化防止地域セミナーを下記のように開催しました。多くの市民の方に参加していただき意義あるセミナーとなりました。

①地球温暖化防止地域セミナー「北極のナヌー」上映

開催日：12月13日（土）場所：大宮法科大学院大学

②市民活動として 太陽光発電推進への取り組み紹介

開催日：2月28日（土）場所：埼玉会館

③地球温暖化と私たちの役割について

開催日：3月7日（土）場所：にいざほっとぶらざ



太陽光発電の取り組み状況を語る國井 範昭氏



## 〈地域・会員活動報告〉

### 1. 小学校の環境学習指導を行いました

#### ～行田環境市民フォーラムの活動～

12月8日（月）、11日（木）行田市民フォーラムでは、行田市北小学校からの要請で5年生3学級84名に環境学習の指導を行いました。

1日目は、環境大学卒業生の星野秀三さんによる「地球温暖化ってなあに？」と題し、温室効果ガス（CO2など）がなぜ増えるのか？などについて映像と資料にてやさしく説明しました。

2日目は、推進員の國井範彰さんによる「太陽光発電は、みなさんの未来にどう役立つか」を映像や太陽光発電装置模型などを用いて説明しました。特に子どもたちからは模型装置に人気集中しました。

「行田環境市民フォーラム」は、環境問題に関する調査・研究をするとともに、行政と市民との協働を通じて行田市の住みよいまちづくりに寄与することを目的として、1年前に個人・団体・法人によって結成されました。毎月1回会員相互の勉強と行政との協働に

会員・推進員 米山 稔

ついて話し合っています。第1回目の行事は「公開学習会」として11月1日（土）「不都合な真実」の上映と行田市の環境に対する取り組みについて参加者との話し合いを行いました。

平成19年7月にも北小学校5年生を対象に環境学習指導を実施しました。

これらの学習会開催の実績から今後も毎年5年生を対象に総合学習の一環として環境学習を続けてほしいとのお話をいただいています。これを機会に行田市内における環境学習の環を一層広げていきたいと考えています。



環境学習会の様子

### 2. 団体正会員（企業）会員紹介

#### 毎日興業株式会社

##### ◆会社概要

代表者	代表取締役 田部井 功
所在地	さいたま市大宮区浅間町2-244
設立	昭和48年2月
資本金	8千万円
事業	ビル総合管理
関連会社	(株)ビルテクノマイニチ、(株)アクセル、 (株)ビルヒット、(有)パル、他

埼玉県内を中心に首都圏のビル、マンションをお客様とする総合ビル管理会社です。また、官公庁の指定管理者として、体育館、ホールなどの運営も行っています。

経営基本理念「人が信頼を築き、信頼が社業を支え、社業をもって地域発展に貢献する」のもと、お客様第一、そしてお客様に接する社員を大切にしています。社員による仕事への気づきを大切にし、昨年は700件余の提案の結果、仕事の改善、お客様の省エネにつながるものも多くみられました。指定管理物件では、現在ある技術を組み合わせ独自システムを作り大きな省エネに結び

つけています。その結果、『埼玉環境賞エコアップ大賞』や『ストップ温暖化！冷やせ彩の国コンクール埼玉県知事賞』を受賞しました。

『人づくり＝徳づくり』の考えのもとCSRにも積極的に参加し、社員の発案で始まった社会貢献活動も数多くあります。（森づくり、事務所周辺の清掃、アルミ缶回収による車椅子寄贈など）「社会から信頼される企業倫理と社会的責任を果たす会社、家族からも喜ばれる社員・職員を大切にす会社、お客様に愛されて感動を与える社員・職員の会社」を目指して日々経営革新を行っています。



小川町での森づくり参加の社員とその家族



## コラム：あなたが主役！「家庭のCO2削減ハンドブック」で“STOP温暖化大作戦”

「地球温暖化を止めるため、できることから始めよう。」という呼びかけを聞いて、「何をすればいいの?」「何をするとどんな効果があるのかな?」そんな疑問を持つ方も多いのではないのでしょうか。

埼玉県では、「家庭のCO2削減ハンドブック」を作成しました。ハンドブックでは、「暖房」「リビング」「キッチン」など日常生活のさまざまな場面でできる取組を約60項目紹介、温暖化の原因となる二酸化炭素(CO2)がどのくらい減らせるかを「見える化」しています。例えば、1日1時間暖房を消すと、エアコンの場合1ヶ月でCO2を2.9kg削減。10年前の冷蔵庫を省エネ性能の高いものに買い替えたと1ヶ月で17.1kg削減できます。詳しくはぜひハンドブックをご覧ください。

## 〈事務局からのお知らせ〉

### 1. “センターだより”の原稿募集について

“センターだより”を半年ごとに発刊しています。当団体の行事や地域活動、会員団体・企業でのいろいろな活動について原稿を募集しています。是非ご協力ください。

### 2. 特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉会員募集について

(申込みに関する詳細につきましては事務局までご連絡ください。)

正会員(1口当たり)

会費種別	個人会員	団体会員(非営利)	団体会員(企業)
年会費	5,000円	5,000円	50,000円

賛助会員

会費種別	個人会員	団体会員(非営利)	団体会員(企業)
年会費	2,000円	2,000円	10,000円

### 3. ホームページについて

当センターではホームページを開設しています。その中にある「環境ネットワークプラザ」には、埼玉県内をはじめとするイベント情報や当団体会員名簿、環境保全団体名簿、協働や助成金の情報を掲載しています。



項目ごとに取組みやすさの目安を3段階で示すとともに、どのくらいの家計節約になるかも示しています。無理をせず取組みやすいことから始めて、CO2削減の取組を続けましょう。ハンドブックは、埼玉県温暖化対策課や市町村の温暖化対策担当部署で配布しています。埼玉県HPからも閲覧、ダウンロードできます。  
(<http://www.pref.saitama.lg.jp/A09/BE00/ecolife/-co2handbook/index.html>)

問い合わせは埼玉県温暖化対策課へ(048-830-3033)



また、交流スペースとなっていますので、情報、事例など、どんな小さいことでも構いませんのでどしどしお寄せください。連絡先は、info@kannet-sai.org まで。

## 編集・発行

発行日 2009年3月30日

埼玉県地球温暖化防止活動推進センター／特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉  
2009年4月1日からは下記のように変わります。

埼玉県さいたま市南区别所1-1-16 東京電力株さいたま支社浦和営業センター2F  
TEL:048-749-1217 FAX:048-749-1218 <http://www.kannet-sai.org/>

閉館日：土・日、祝日

開館時間：9時～17時 情報やお知らせ等、是非お寄せください。